

(別紙)

事業名 △△国立公園△△湿原生態系維持回復事業

(単位：円)

事業年度	個別事業名	総事業費	積算内訳							
			経費区分	項目	単価	数量	単位	予定額	うち交付対象外経費(自己負担額)	備考
初年度 令和5年度	ア 野生鳥獣管理事業	1,141,620	諸謝金	有識者謝金	37,500	4	回	150,000		影響評価のため有識者の招聘
			消耗品費	ペンチ等施工工具、梱包用資材等	5,620	1	式	5,620		資料1
			賃金等	主任作業員	12,000	32	人日	384,000		4人×8日
			賃金等	作業員	10,000	35	人日	350,000		5人×7日
			資材購入費	獣害防止ネット	252,000	1	式	252,000		資料6
			諸謝金	有識者謝金	30,000	5	人	150,000		手法検討のための有識者の招聘
	イ 湿原生態系維持回復事業	4,527,100	消耗品費	野帳、デジカメ用電池等	32,660	1	式	32,660		資料1
			借料及び損料	バス借り上げ 29人乗	56,160	4	台×日	224,640		湿原植生現況調査等移動用 2台×2日
			会議費	作業時飲料水	110	500	本	55,000		
			賃金等	主任作業員	12,000	91	人日	1,092,000		7人×13日
			賃金等	作業員	10,000	100	人日	1,000,000		10人×11日
			無償労務費	外来生物除去、植栽伐採	822	2,400	人日	1,972,800		〇〇県時給822円×5h×24人×20日
	ウ 湿原植生現況調査等事業	1,881,190	備品費	調査用ドローン	130,460	1	台	130,460		資料7
			雑役務費	湿原植生現況調査等外注費	1,750,730	1	式	1,750,730		資料5 調査結果分析、図化、GISデータ化等
	エ 普及啓発事業	1,350,090	諸謝金	講師謝金	15,000	8	人	120,000		説明会の講師
			旅費	指導者旅費	15,000	6	人×回	90,000		東京～〇〇 2人×2回×2(往復) 乗車券(片道)4,100円 特急券(片道)2,250円 日当2,300円
			消耗品費	軍手、外来種回収用ビニル袋等	15,690	1	式	15,690		様式1
			印刷製本費	ガイドブック 1250冊	621,000	1	式	621,000	300,000	資料2
			印刷製本費	報告書 150冊	291,600	1	式	291,600		資料3
			通信運搬費	ガイドブック、報告書郵送料	9,500	1	式	9,500		資料4
			借料及び損料	説明会会場借料	7,000	3	時間	21,000		
			会議費	会議用飲料水	110	130	本	14,300		
			雑役務費	簡易看板デザイン・作成 2基	167,000	1	式	167,000		資料5
				小計	1,350,090					
				金額が表示されていることを確認	8,900,000					
		初年度合計 (A)+(B)	8,900,000	(A)うち交付対象経費		(B)うち交付対象外経費		(要望額上限の参考)		国内希少野生動植物種の飼養・繁殖のための水槽、恒温庫など、経費区分上の備品費の範囲に収まる設備類を想定するものです。用途や機能がわかりにくい特殊なものについては、説明資料を添付してください
要望額	事業者で負担する額			自己負担額	交付率	要望額上限				
4,300,000	4,300,000	300,000	1/2	4,300,000						
8,600,000										

9. 事業計画で記載した事業区分を反映させてください。事業区分ごとに総事業費、要望額、申請者負担額、経費区分及び積算内訳を整理してください。

主に物品購入等で「一式」としているものは、購入一覧、一式の内訳が分かる資料を添付ください(別シートに記入でも可)

自己負担がある場合は記載

役務を発注する場合、委託する事業内容及び積算内訳の分かる資料を必ず添付してください

旅費の内訳を記入。任意様式でも可

事業年度	個別事業名	総事業費	積算内訳							
			経費区分	項目	単価	数量	単位	予定額	うち交付対象外経費(自己負担額)	備考
2年目 令和6年度	ア 野生鳥獣管理事業	1,141,620	諸謝金	有識者謝金	37,500	4	回	150,000		影響評価のため有識者の招聘
			消耗品費	ベンチ等施工工具、梱包用資	5,620	1	式	5,620		資料8
			賃金等	主任作業員	12,000	32	人日	384,000		4人×8日
			賃金等	作業員	10,000	35	人日	350,000		5人×7日
			資材購入費	獣害防止ネット	252,000	1	式	252,000		資料9
	イ 湿原生態系維持回復事業	4,527,100	諸謝金	有識者謝金	30,000	5	人	150,000		手法検討のための有識者の招聘
			消耗品費	野帳、デジカメ用電池等	32,660	1	式	32,660		資料10
			借料及び損料	バス借り上げ 29人乗	56,160	4	台×日	224,640		湿原植生現況調査等移動用 2台×2日
			会議費	作業時飲料水	110	500	本	55,000		
			賃金等	主任作業員	12,000	91	人日	1,092,000		7人×13日
			賃金等	作業員	10,000	100	人日	1,000,000		10人×11日
			無償労務費	外来生物除去、植栽伐採	822	2,400	人日	1,972,800		〇〇県時給822円×5h×24人×20日
	ウ 普及啓発事業	552,590	諸謝金	講師謝金	15,000	8	人	120,000		勉強会の講師
			旅費	指導者旅費	15,000	6	人×回	90,000		東京～〇〇
			消耗品費	軍手、外来種回収用ビニル袋	15,690	1	式	15,690		様式10
			印刷製本費	報告書 150冊	291,600	1	式	291,600		資料12
			借料及び損料	説明会会場借料	7,000	3	時間	21,000		
			会議費	会議用飲料水	110	130	本	14,300		
				小計			552,590			
			6,221,310							
初年度合計			(A) うち交付対象経費		(B) うち交付対象外経費		(要望額上限の参考)			
(A)+(B)			要望額	事業者で負担する額	自己負担額		交付率	要望額上限		
6,221,310			3,110,000	3,111,310	0		1/2	3,110,000		
			6,221,310							

2年目以降も、可能な範囲で具体的に記載してください。

要望額は、千円未満の端数は切り捨てになります。千円未満の端数は、「事業者で負担する額」「自己負担額」のいずれかにしてください。